

赤潮情報第28号

(八代海:シャットネラ、カレニア警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

シャットネラが390細胞、カレニアミキモイが48細胞確認。 引き続き、十分な警戒が必要です。

本日、熊本県、天草市、漁業者グループが調査したところ、シャットネラ属が海水1mL 当たり **最大390細胞**、カレニアが**最大48細胞**、確認されました。細胞数は一部海域で減少していますが、天候や海況によって増殖する可能性がありますので、**引き続き、十分な警戒が必要です**。(詳細は下図を参照してください)。

これらの種は有害で、魚介類がへい死することがあります。周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意するとともに、餌止めや粘土散布等の対策を行ってください。

※数字は水深0m, 5m層の海水1mL 当たりのシャットネラ属の細胞数です。【採水時刻】
[]の数字はカレニア ミキモイ。

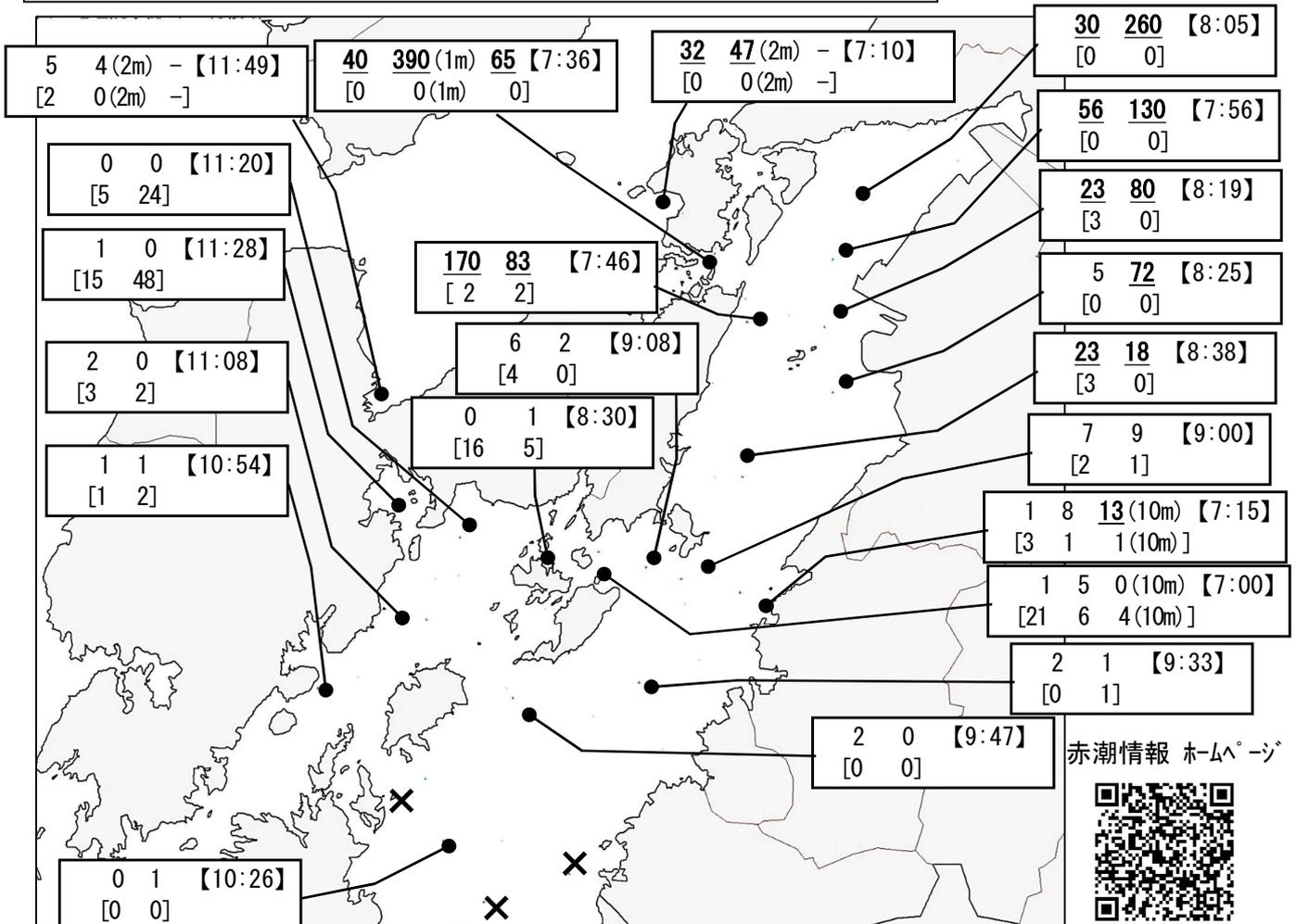


図 赤潮発生海域

※×印：全ての採水層でシャットネラ属が0細胞

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください (ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット

